

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

## I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2 スクール・ポリシー	<p>『育てたい生徒像』 Graduation・ポリシー (GP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術の習得および各種資格取得を目指し、生涯をとおして自己実現を図ることができる生徒</li> <li>社会性を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる生徒</li> <li>人間関係の形成や社会ルールなどを日常生活や様々な活動から学び、他者と互いの人格を尊重し合い、豊かな人生を送る姿勢をもつ生徒</li> </ul>	<p>『生徒をどう育てるか』 Curriculum・ポリシー (CP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力の定着を目指した教科指導の徹底と、専門性の高い実習および外部との連携による探究的な学びの推進</li> <li>高校生活のあらゆる場面において「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等の指導による社会性、および豊かなコミュニケーション能力の育成</li> <li>目標を持ち、切磋琢磨する生徒や、自己実現を目指す生徒に対する共感的理解を持って、粘り強く行う支援の実施</li> </ul>	<p>『どんな生徒を待っているか』 Admission・ポリシー (AP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標や向上心を持ち、強い意欲をもって学習と部活動の両立を目指し、日々努力を重ねることができ生徒</li> <li>誠実で主体的な人間性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、地域社会で活躍することを目指す生徒</li> </ul>
3 評価する領域・分野	進路指導		
4 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「進路情報の提供」「適切な指導」に関するアンケート結果は、生徒および保護者共に概ね8割から9割が「あてはまる」と回答している。		
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>(1) 生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、生徒が自己の能力や適性を理解し自らの生き方を考え、将来の夢や希望の実現に向けて主体的に進路選択が進められるキャリア教育の推進を図る。</p> <p>(2) 就業に対する意識を高めると共に、望ましい勤労観・職業観の形成および確立を図り地域に愛され地域で活躍できる人材の輩出に努める。</p> <p>(3) 確かな学力を身に付け、英語や小論文、商業・工業の専門知識を生かした進路実現に向けて教科・学年・専門部等との連携を強化する。</p>		
6 重点目標を達成するための校内組織体制	教務、各学年、各教科、商業専門部、工業専門部		
7 目標達成のための具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
<p>(1) 発展的なキャリア教育の推進</p> <p>(2) 地域に貢献できる人材の育成</p> <p>(3) 基礎学力と専門力等の向上</p>	<p>(1) 将来に対する目的意識を持ち、主体的に取り組む</p> <p>(2) 望ましい勤労観・職業観の形成と地域産業の理解</p> <p>(3) 基礎学力の向上および専門性を生かした進路実現</p>		
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
<p>(1) 学習活動全体を通してキャリア教育を展開</p> <p>(2) 地元企業採用担当者との就職相談会の実施</p> <p>(3) 外部テスト、小論文、面接、プレゼンの指導</p>	<p>(1) 指導内容の連携と充実</p> <p>(2) 地域産業の理解と人材の輩出</p> <p>(3) 学習活動を活かした進路実現</p>	<p>Ⓐ B C D</p> <p>A Ⓑ C D</p> <p>A Ⓑ C D</p>	
成果・課題	<p>○各学年で実施した進学相談会などの進路行事を通じ、進路選択に向けた情報発信を行うことができた。</p> <p>○コロナ禍において、キャリア教育推進のため、対面の進路ガイダンスを復活した。担当者と直接対話でき、進路決定の助けになった。</p> <p>○就職希望者のおよそ41%が関市内の企業に内定し就業を予定している。また、多くの生徒が商業や工業の専攻する学科やコースの専門性に関連する業種の企業への就職を決めている。</p> <p>●自己の考えを明確にできないまま受験先の決定を迫られる生徒の対応として、今まで以上に早期から生徒個々に応じた進路指導が必要であると感じた。</p>		
13 来年度に向けての改善方策案	<p>・学校見学やオープンキャンパス、企業見学や企業紹介動画などを効果的に活用して、1年次から学科の特性を生かした体系的なキャリア教育を展開し、生徒自身が早期に多くの情報を入手することで、より深く将来の進路を考えられるように努める。また、様々な進路活動の振り返りにおいては、生徒個々に対して、よりきめ細かい指導を行い進路実現に向けて自ら行動できるよう導く。</p>		

## Ⅱ 学校関係者評価

実施年月日 1月29日(月)

【意見・要望・評価等】  
特記事項なし